

## パワーローラトラクタ取扱説明書

### KL270-PC, KL330-PC

このたびはクボタ製品をお買上げいただきましてありがとうございました。この取扱説明書は、**パワーローラ仕様機**について、タイヤ仕様と特に異なる取扱い方法についてのみ説明してあります。その他の説明については、本編の**取扱説明書**をご覧ください。

### パワーローラ仕様について

#### 重要

- \* このパワーローラ仕様機は**道路交通法**における大型特殊自動車に該当します。従って公道を走行する場合は**大型特殊自動車の運転免許証**が必要です。

### 日常点検

1. ゴムクローラの張りや亀裂、損傷が無いかを点検し、大きな亀裂や損傷がある場合は交換を行なってください。
2. スプロケットの摩耗を点検してください。
3. 可動部分やゴムクローラへの石等のはさみ込みが無いかを確認し、はさまっている場合は取り除いてください。
4. 各部のボルト、ナットの緩みがないか点検してください。

### 運転操作



- \* **凹凸やカーブの多い所では絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなる恐れがあります。**

1. 走行速度は、タイヤ仕様とは異なります。巻末の【**走行速度表**】を確認してください。
2. ほ場での旋回は速度を下げ、ハンドルとブレーキ（片ブレーキ）を併用してください。片側クローラをロックしての急旋回は、ほ場を荒らしますので切返しでの旋回をお奨めします。

#### 重要

- \* 機械保護のため、急発進、急停止や急旋回など、無理な操作はしないでください。

#### 補足

- \* 上記以外の取扱い操作は、タイヤ仕様のトラクタと同じです。本編の**取扱説明書**をご覧ください。安全に操作してください。

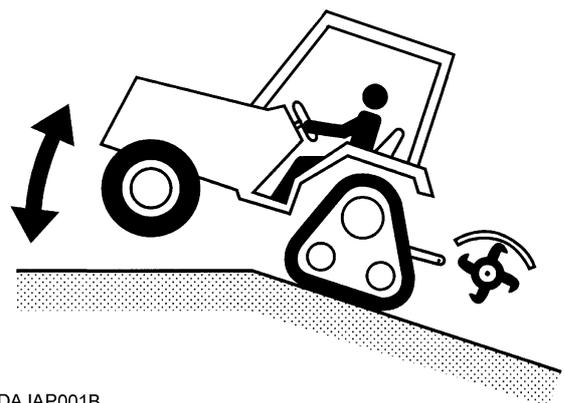
#### 安全に作業するために

本パワーローラトラクタはタイヤ仕様と異なりますので、必ずこの**取扱説明書**をよく読み理解した上で安全作業をしてください。

#### ■運転時に



- \* **クローラ部が凸部を乗り越えるときは、急に姿勢が変わりますので十分注意してください。**

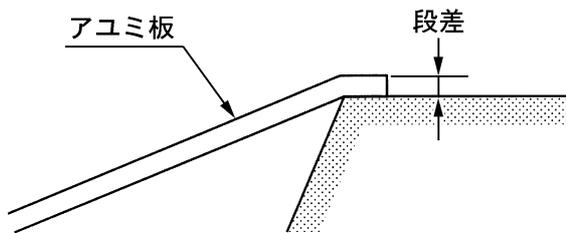


1AGADAJAP001B

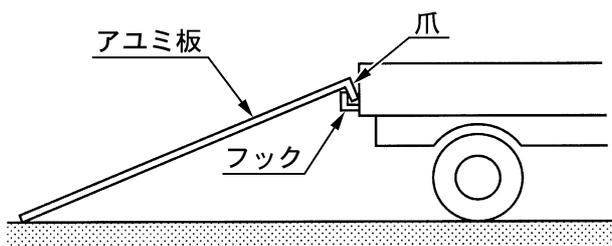
## ■ほ場への出入り時の注意



- \* アユミ板は左右の先端をそろえ、前後にずれないように確実に固定してください。
- \* アユミ板とアユミ板をかけた面との段差が大きい場合、運転には特に注意してください。
- \* クローラの片側だけが段差に引っかかり乗りあがらない状態になった場合、いったん車両を元に戻し、アユミ板をかけ直してはじめてからやり直してください。



1AGADAJAP002B



1AGADAJAP003B

## ■作業時の注意

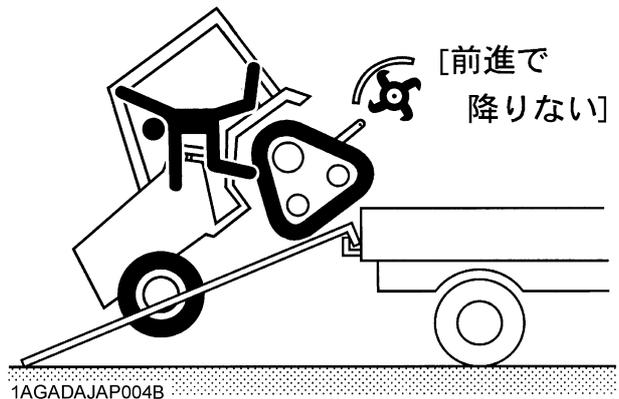


- \* プラウ作業など片側のクローラを溝に落としてする作業の場合は、クローラの張りを確認してください。また段差から無理に出ようとしないでください。

## ■トラックへの積み・降ろし



- \* アユミ板は、十分な強度・幅・長さ（傾斜が15度以下になる長さ：トラックの荷台高さの4倍以上）のあるすべり止め及び爪付きのものを使用し、パークローラトラックの重量でアユミ板が傾いたりしない場所を選んでください。
- \* トラックは荷台後部にアユミ板の爪を掛けるフックが付いたものを使用してください。
- \* トラックへの積み・降ろしは、必ず左右のブレーキペダルを「連結」し、前進で積み込み、後進で降ろしてください。前進で降りると、クローラがアユミ板の段差ですべり、前輪が浮いて車体が旋回し、転倒事故につながるおそれがあります。



1AGADAJAP004B

## ウエイト（別売）



**注 意**

- \* トラクタ後部用作業機を装備したとき、かじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20%以上になるようにバランスウエイトを装備し、使用してください。
- \* 装着可能な最大ウエイトを装備してもかじ取り（前輪）にかかる荷重が総重量の 20%以上を確保できない作業機は装着しないでください。  
前部が軽くなり過ぎると、操縦が難しくなり転倒事故のおそれもあります。
- \* フロントローダを使用するときは、安定性を高めるためトラクタ後部に作業機や適切なウエイトを装着してください。（詳細は購入先にご相談ください）

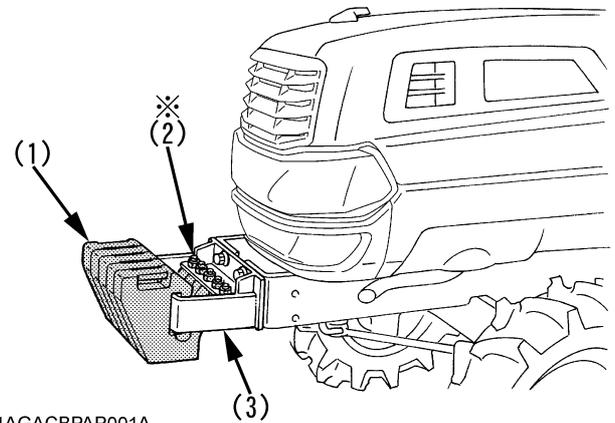
### ■ウエイト（オプション）

ウエイトの必要枚数は使用するインプラメントの取扱説明書や購入先にご相談ください。

### ◆ 前部ウエイトの取付け方法

トラクタのフロントバンパに付属のボルト、ナットで固定します。

ウエイト 1 枚の重量は 25kg で 1～5 枚取付けできます。



1AGACBPAP001A

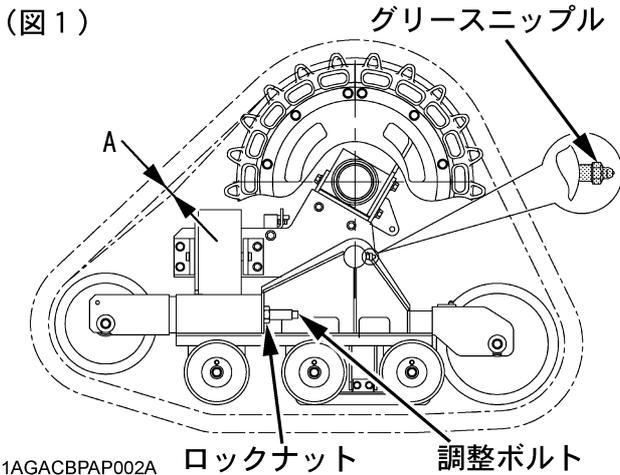
- (1) ハンガウエイト  
(99261-11002…前部ウエイトアッシ)
- (2) ボルト、ナット、ザガネ
- (3) フロントバンパ

※ ボルトについては標準出荷部品に含まれているボルト (01173-51460 × 5 本) をご使用ください。

## 保守管理

### ■ゴムクローラの張り調整

1. ゴムクローラが緩んだままで使用すると、走行中に脱輪のおそれがありますので、定期的に点検を行なってください。
2. ゴムクローラの張りの調整は、A 部のたわみが 20～25kgf の荷重で 10～15mm になるように、調整ボルトにて行なってください。調整後は確実にロックナットで固定してください。(図 1 参照)



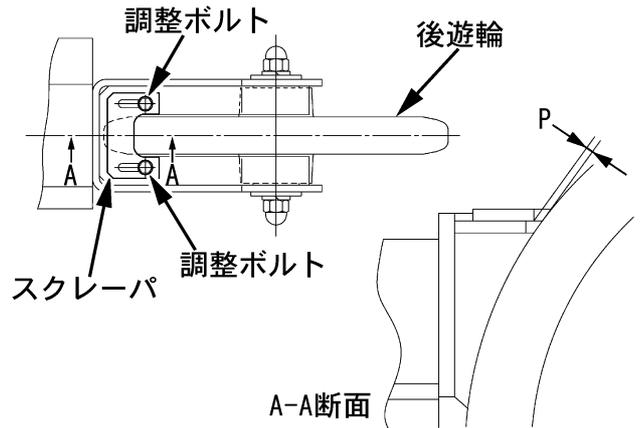
### ■グリースアップ

クローラの揺動軸部のグリースニップル（左右 2 箇所）より、定期的（50 時間毎）にグリースの注入を行なってください。

### ■スクレーパのすきま調整

[KL330PC のみ]

1. 遊輪とフレーム間のすきまが大きいまま作業を続けると、遊輪の早期摩耗につながりますので定期的に点検を行なってください。
2. スクレーパのすきま調整は調整ボルトを緩めて、スクレーパを前後にスライドさせて行なってください。このとき、スクレーパと遊輪のすきま（P 寸法）は 1～3 mm 程度にして、後遊輪がスムーズに回転することを確認してください。確認後は確実に調整ボルトを締めてスクレーパを固定してください。

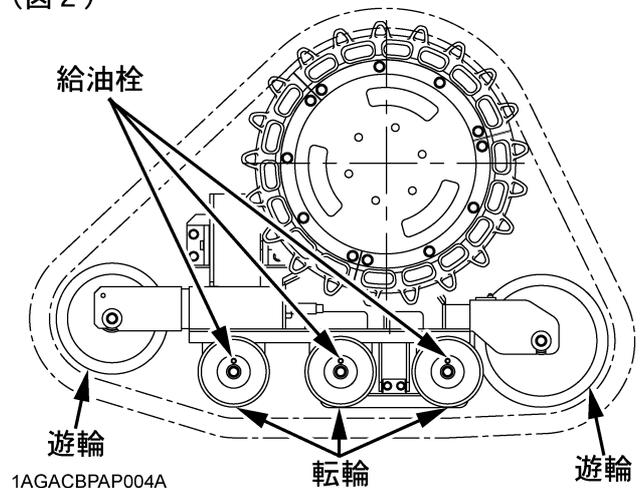


### ■クローラの転輪・遊輪のオイルシール点検

クローラの転輪・遊輪のオイルシールは、200 時間毎に点検・チェックの上、異常があれば交換してください。

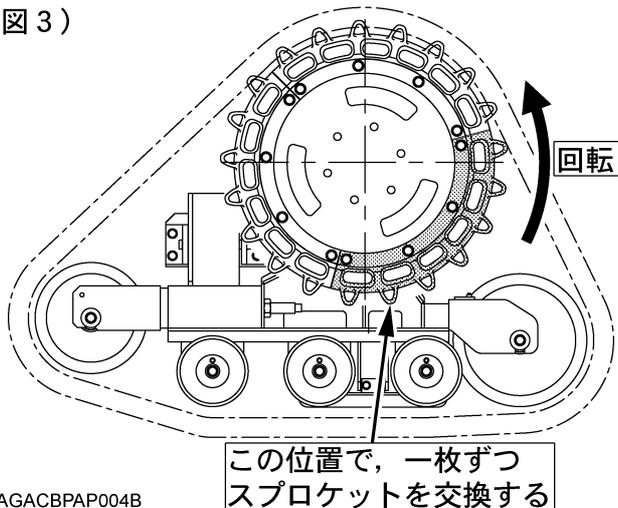
又、点検時に転輪部にオイル補給をしてください。転輪部は給油口を最上位置にし、オイル差しでオイルがあふれ出るまで補給してください。(SAE90 ギヤオイル：最大 100cc) 給油栓は締付時ネジ部にシールテープを巻いてください。

(図 2)



## ■スプロケットの交換

(図3)



1AGACBPAP004B

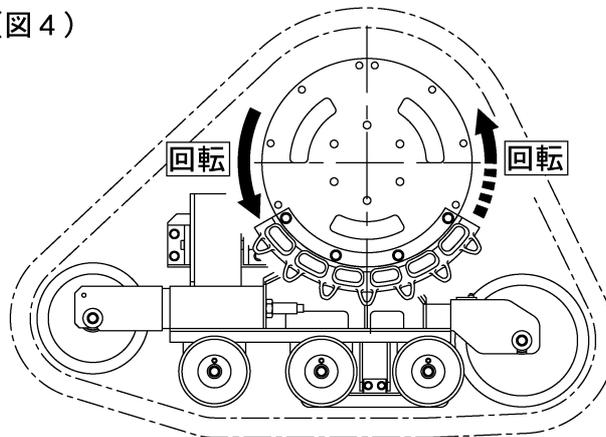
スプロケットは3枚で構成されています。

1. まず図3の下部で示した下側のスプロケットを新しいスプロケットに交換します。(図3)
2. 次に車軸をゆっくり回転させ、順次下側に来たスプロケットを新しいものに交換していきます。
3. 3枚のスプロケットを交換した後、ゴムクローラの張り調整を行なってください。

## ■ゴムクローラの交換

1. ロックナットを緩め、次に調整ボルトを回転させ、クローラの張りを緩めます。(図1参照)
2. 図3の下部で示した下側のスプロケットから順次2枚のスプロケットを外します。

(図4)



1AGACBPAP005A

3. 一枚のスプロケットを残したまま図4に示す位置まで車軸をゆっくり回転させ、古いゴムクローラを外します。
4. 新しいゴムクローラに置き換えた後、車軸を回転させ、スプロケットにゴムクローラを掛けます。
5. 外した2枚のスプロケットを取付けた後、最後にゴムクローラの張り調整を行なってください。

## 主要諸元

### ■トラクタの主要諸元

型式名		KL270PC	KL330PC		
駆動方式		4輪駆動			
機体寸法	全長	mm	3255	3340	
	全幅	mm	1620 {1610}	1630 {1620}	
	全高	mm	2035 [2055]	2050 [2070]	
	軸距	mm	1670	1740	
	輪距	前輪	mm	1085	1170
		クローラ	mm	1210 {1175}	1230 {1195}
最低地上高	mm	395	410		
質量(重量)	kg	1535 [1710]	1595 [1770]		
エンジン	機関型式	クボタ D1503-M-E-1		クボタ D1503-MB-E-1	
	形式	水冷4サイクル3気筒立形ディーゼル			
	総排気量	L	1.499		
	出力/回転速度	kw(PS)/rpm	19.9/2600 (27/2600)	24.3/2800 (33/2800)	
	使用燃料	ディーゼル軽油			
	燃料タンク容量	L	35	40	
	始動方式	セルモータ式(グロープラグ式)			
バッテリー	75D23R				
タイヤ	前輪	8-16		8-18	
	後輪	クローラタイプ			
車体	クラッチ方式	乾式単板			
	制動装置	一系統左右独立(連結装置付), 湿式ディスクブレーキ(機械式)			
	かじ取り方式	ボールスクリュウ式(インテグラルパワーステアリング)			
	差動方式	4ピニオンかさ歯車式(デフロック付)			
	変速方式	Uシフト			
変速段数	前進24段, 後進16段				
走行速度	前進24段	0.20 ~ 15.68		0.19 ~ 15.57	
	後進16段	0.18 ~ 12.32		0.16 ~ 10.78	
ゴムクローラ諸元	400W × 35L × 90P		400W × 38L × 90P		
接地面積	mm <sup>2</sup>	6895 {7325}		7705 {8185}	
緩衝方式	揺動式(±10°)				
遊輪/転輪	2/3				
PTO	回転速度/エンジン回転速度	rpm	正転	564, 795, 985, 1313/2600	561, 791, 980, 1307/2800
		rpm	逆転	985/2600	980/2800
	軸寸法	mm	JIS 35		
作業機昇降装置	制御方式	ポジションコントロール			
	装置方式	3点リンク JIS 1形			

[ ] は安全キャブ仕様, { } はPC1仕様

1. 接地面積=接地長(前遊輪と後遊輪の中心間距離)×ゴムクローラ幅とする。
  2. 後輪距はゴムクローラ中心間距離とする。
  3. 揺動角度は車体に対する揺動角度とする。(車体の左側から見て時計回り方向を+, 反時計回り方向を-)
- ※この主要諸元, 製品形態は改良のため予告なく変更することがあります。

## ■走行速度表

単位 (km/h)

U シフト仕様		KL270PC		KL330PC	
主変速 レバー	クリープ レバー	前進	後進	前進	後進
1	低	0.20	0.18	0.19	0.16
2		0.23	0.25	0.23	0.22
3		0.28	0.31	0.27	0.27
4		0.32	0.41	0.32	0.36
5		0.35	0.55	0.33	0.48
6		0.40	0.78	0.40	0.68
7		0.46	0.96	0.44	0.85
8		0.53	1.28	0.53	1.13
9		0.70	—	0.70	—
10		0.99	—	0.99	—
11		1.23	—	1.22	—
12		1.64	—	1.63	—
1	高	1.77	1.59	1.70	1.39
2		2.02	2.24	2.01	1.97
3		2.50	2.77	2.39	2.44
4		2.85	3.69	2.84	3.25
5		3.10	4.91	2.97	4.32
6		3.53	6.93	3.52	6.09
7		4.13	8.58	3.95	7.54
8		4.70	12.32	4.69	10.78
9		6.25	—	6.24	—
10		8.82	—	8.80	—
11		10.92	—	10.90	—
12		15.68	—	15.57	—

※上記速度はエンジン定格回転時 (KL270PC ; 2600rpm / KL330PC ; 2800rpm)。

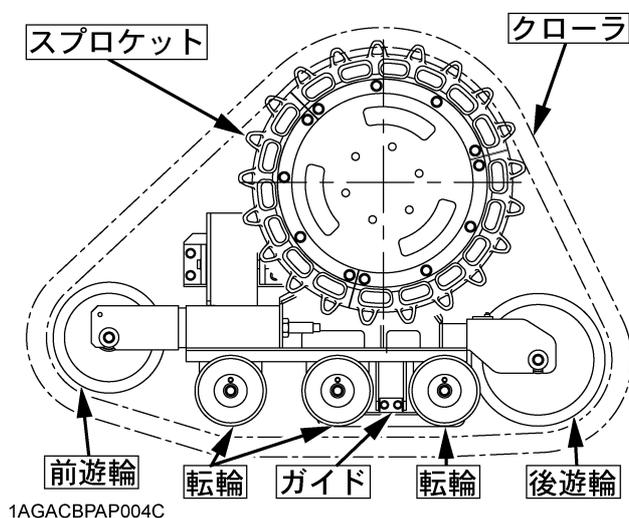
※変速最高段 (前後進共) はエンジン MAX 回転時。

## 主な足回り部交換部品一覧表

	品番	品名	適応型式	用途・仕様	備考
クローラ	T1060-8467-0	クローラ (ゴム, ハイラグ)	KL330PC	PC2仕様 38リンク	ハイラグ
	T1060-8468-0	クローラ (ゴム, カタハシゴ)		PC1仕様 38リンク	カタハシゴ
	T0280-6048-0	クローラ (ゴム, 35)	KL270PC	PC2仕様 35リンク	ハイラグ
	T1030-8468-0	クローラ (ゴム, カタハシゴ)		PC1仕様 35リンク	カタハシゴ
転輪	T1060-8401-0	テンリン, アッシ (サブ)	KL270PC KL330PC		
遊輪	T1270-8450-0	アイドラ, アッシ (300, フラット)	KL330PC	後遊輪のみ	
	T1240-8450-0	アイドラ, アッシ (250, フラット)	KL270PC KL330PC	KL270PC →前後遊輪 KL330PC →前遊輪のみ	
スプロケット	T1270-8407-0	スプロケット	KL270PC KL330PC		
ガイド	T1270-8458-0	ガイド (クローラ)	KL270PC KL330PC		

※部品は改良のため予告なく変更することがあります。御購入の際は、購入先にてご確認ください。

### ■クローラアッシ足回り部概略図



## アタッチメント一覧表（純正アタッチメントを使いましょう）

品番	品名	適応型式	用途・仕様	併用アタッチメント
T0070-39101	トップリンクアッシ	KL270PC KL330PC	一般作業用	
99221-12002	前部ウエイトアッシ		28kg 前車軸フレーム の前部に取付け	
34070-49772	バンパ（15）		15kg, 20kg, 30kg, 40kg 前車軸フレーム前 部に取付けている バンパを取外して 装着するウエイト です。	30400-44891… 2コ （ボルト）
34070-49782	バンパ（20）			02771-50100… 2コ （ナット）
34070-49793	バンパ（30）			34070-49731 … 2コ （ボルト）
				02174-50120… 2コ （ナット）
				04512-50120… 2コ （バネザガネ）
T1030-49801	バンパ（40）		01774-51275… 2コ （ボルト）	
			02174-50120… 2コ （ナット）	
			04512-50120… 2コ （バネザガネ）	
99563-81001	キャノピ（簡易型）	ホロ製日よけ。 安全キャブ仕様 には装着できません。		
99397-15101	洗車ポンプ	後部PT0に取付け。 スーパージョイン ト付には取付けで きません。		
99563-85001	キャノピアッシ	樹脂製折りたたみ 日よけ。 安全キャブ仕様 には装着できません。		
99233-75002	ヒッチアッシ			